

別紙-1 環境試験設備の維持・運営の民営化に係る事業の概要

1. 事業構想

従来、JAXAと民間事業者との契約に基づき実施した対象試験設備等の維持および設備利用者と民間事業者との間の契約に基づく外部供用試験に代わり、試験設備等の維持、試験の実施（運転操作等）および試験設備等の利用事業を民間事業者が主体的に実施する形態へ移行することを構想しております。以下に新たな事業の内容を説明します。

2. 対象試験設備等

事業の対象となる試験設備を図 1 に、建屋およびエリアを図 2 に示します。

3 事業内容

3. 1 従来事業（事業枠組みを図 3）

従来、対象する試験設備等の維持に必要な保守点検・管理（定期点検、日常点検や工程管理等）の運営について、民間事業者へ具体的な作業内容の要求を行い請負契約により実施していました（全設備を一括契約）。試験実施時の設備運転操作については、JAXA関連利用者（宇宙企業）や外部利用者（宇宙企業 & 一般企業）を問わず、各利用者との設備運転契約により同民間事業者が行う枠組みでした。

3. 2 新たな事業構想（事業構想枠組みを図 4）

以下に新たな事業構想の特徴とJAXAの狙いを説明します。

（1）性能規定による維持管理業務

従来の維持管理請負契約ではJAXAが点検内容等を詳細に規定するいわゆる「仕様規定」となっており、事業者のアイデアを生かす効率的かつ柔軟な運営が困難でした。新たな事業構想では対象設備等について着実な維持はお願いしつつ、結果のみを要求する（例：設備が取扱説明書の性能で機能することなど）、いわゆる「性能規定」を採用し、民間事業者による維持コストの削減努力が自身の収益につながる事業枠組みとします。

(2) 設備利用収入の増加

JAXA関連利用者（宇宙企業）等の試験実施により定常的な収益が見込め、さらに、外部利用者（宇宙企業 & 一般企業）を増やすことで、収益の増加が見込めます。また、他の収益増加の方策としてJAXAは事業者へ対象設備等の使用权を与え、設備等の利用目的に関する制限を基本的に無くします（従来は試験目的に限定）。これにより設備等を資本に、試験実施以外の用途も含め新利用事業を事業者自らが自由なアイデアで企画・実施できるようになり、加えて収益増加のため積極的な営業活動を行えます。インセンティブとして、試験実施や新事業なども含めた収益は基本的に事業者のものとするよう考えております。また、JAXAは産業振興としてJAXA設備等の利用拡大を促進する立場で、事業者の営業活動等に対して積極的な支援を行います。

(3) JAXAの狙い

従来分離していた設備維持と試験実施をひとつにまとめ、さらに新利用事業を加えた幅広い事業を民間事業者が行えるようにすることで、試験実施や新事業等による収益の一部を設備維持経費へ利益還元していただき、民間事業者へ支払う維持費を縮減することがJAXAの狙いです。

設備の不具合による修理等に係る費用は、民間事業者が負担することを考えています。ただし老朽化にともなう更新に係る費用は、事業期間において想定される総費用をJAXAが事業者へ平準化して支払うことを一案と考えております。

また、新たな事業において民間事業者が安全、セキュリティ、工程管理および輸出管理等の事業全般に関する責任を負っていただくことにより、事業の自由度や柔軟性を向上、設備利用に係る手続きの簡素化を進め、その結果として安定した事業性と設備利用拡大に繋がることもJAXAの狙いです。

3. 3 事業期間

2019年度中に開始し、2024年度までの長期契約を想定しています。

- ① 13mφスペースチャンバ
- ② 8mφスペースチャンバ
(含1mφスペースチャンバ)
- ③ 6mφ放射計スペースチャンバ
- ④ 大型振動試験設備
- ⑤ 小型振動試験設備
- ⑥ 1600m³音響試験設備
- ⑦ 大型分離衝撃試験設備
- ⑧ 旋回腕型加速度試験設備
- ⑨ 6トン質量特性測定設備
- ⑩ 10mアライメント測定設備
- ⑪ 電波試験設備
- ⑫ EMC試験設備
- ⑬ 磁気試験設備



①13mφSC



②8mφSC



③6mφ放射計SC



④大型振動試験設備



⑤小型振動試験設備



⑥1600m³音響試験設備



⑧旋回腕型加速度試験設備



⑨6トン質量特性測定設備



⑩10mアライメント測定設備

<参考>

試験設備紹介パンフレット

http://shiken.jaxa.jp/data/env_info.pdf

試験設備ユーザーズマニュアル

<http://shiken.jaxa.jp/index.html>

(試験設備の特徴ページより)



⑪電波試験設備



⑫EMC試験設備



⑬磁気試験設備

図1 対象試験設備



① 総合環境試験棟



② 衛星試験棟（一部）



③ 6m/8mφスペースチャンバ棟



④ 構造試験棟



⑥ 磁気試験棟およびエリア



⑤ 電波試験棟およびエリア



- ① 総合環境試験棟
- ② 衛星試験棟（EMC試験室等）
- ③ 6mφ/8mφスペースチャンバ棟
- ④ 構造試験棟
- ⑤ 電波試験棟および試験エリア
- ⑥ 磁気試験棟および試験エリア



対象建屋・エリア

図2 対象建屋・エリア等

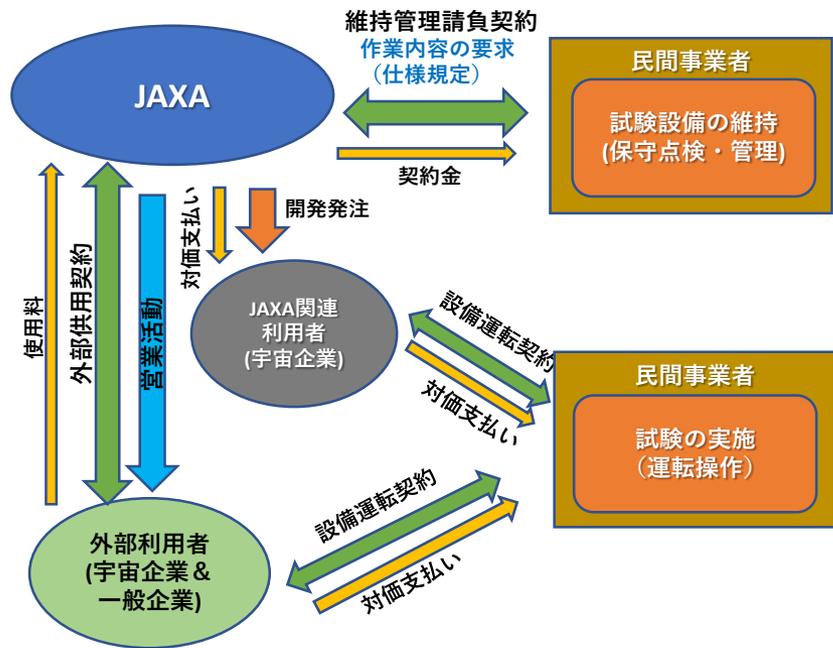
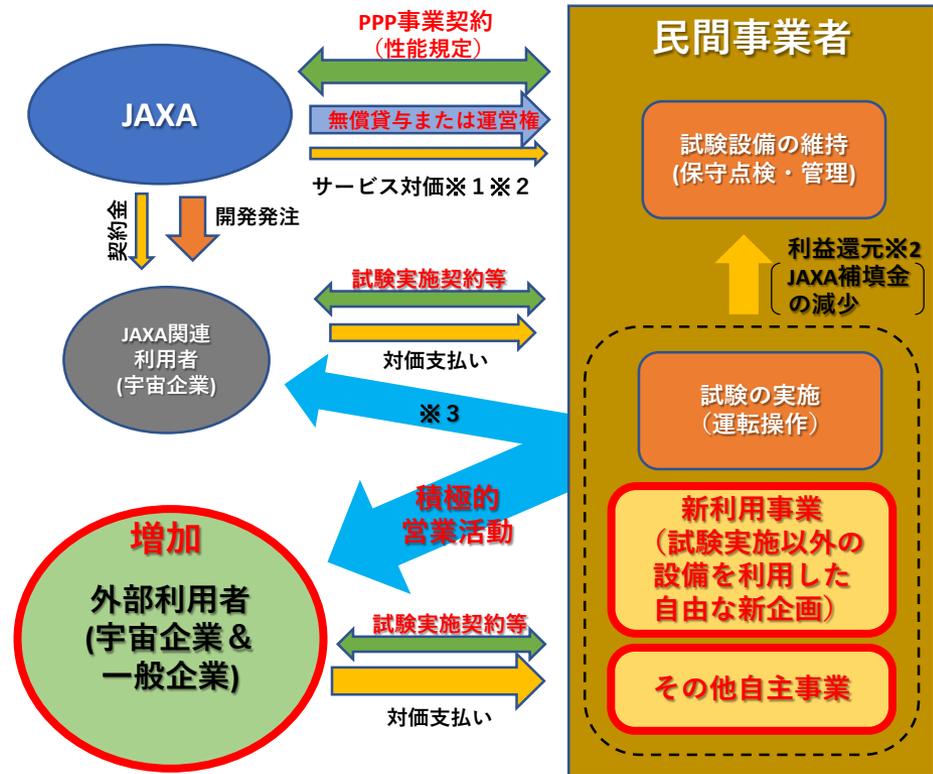


図3 従来事業枠組



- ※1：設備維持に係る費用について、当初契約額についてJAXAから事業者へ支払う。
- ※2：事業者内部での試験実施や新企画で増えた利益を維持設備へ還元することで、サービス対価を縮減
- ※3：宇宙企業保有設備と競争し筑波試験を増やす営業活動→最終的にJAXA開発費の削減へ

図4 新たな事業構想枠組